

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 29 年 12 月 21 日 (2017.12.21)

【公表番号】特表 2017-517647 (P2017-517647A)
 【公表日】平成 29 年 6 月 29 日 (2017.6.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-024
 【出願番号】特願 2016-572492 (P2016-572492)
 【国際特許分類】

D 0 4 B 21/00 (2006.01)

D 0 4 B 1/14 (2006.01)

【F I】

D 0 4 B 21/00 B

D 0 4 B 1/14

【手続補正書】
 【提出日】平成 29 年 11 月 9 日 (2017.11.9)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

E M I シールドアセンブリであって、
 対向する端部の間で縦方向に延びる対向する側面を有する非金属系のニット壁と、
 前記非金属系の複数のループによって前記壁に固定された少なくとも 1 つのワイヤとを
 備え、

前記少なくとも 1 つのワイヤは接地源との操作可能な接続のためにそれぞれの前記対向する側面を超えて延びる、E M I シールドアセンブリ。

【請求項 2】

前記ワイヤは、前記ワイヤの複数の個別の束を形成する複数の前記ワイヤを含み、それぞれの前記束は互いに概ね平行に延び、前記束は互いに横方向に離間する、請求項 1 に記載の E M I シールドアセンブリ。

【請求項 3】

所定の幅 W を有するギャップは、隣接する前記束の間に延び、前記ギャップは前記壁との相対運動に対して前記束を固定する前記ループによって維持される、請求項 2 に記載の E M I シールドアセンブリ。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つのワイヤは撚られる、請求項 1 に記載の E M I シールドアセンブリ。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 つのワイヤは編まれる、請求項 1 に記載の E M I シールドアセンブリ。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つのワイヤは絶縁される、請求項 1 に記載の E M I シールドアセンブリ。

【請求項 7】

前記ワイヤは複数の自由端部および前記自由端部の間で縦方向に延びて前記非金属系の前記ループの間に配置される少なくとも 1 つの結び目を含む、請求項 1 に記載の E M I シ

ールドアセンブリ。

【請求項 8】

前記壁は 2 以上の種類のニットパターンで形成される、請求項 1 に記載の E M I シールドアセンブリ。

【請求項 9】

前記壁は前記壁の前記対向する側面に隣接する複数の前記非金属系の端目を含む、請求項 1 に記載の E M I シールドアセンブリ。

【請求項 10】

前記ワイヤは複数の自由端部を含み、前記アセンブリはそれぞれの前記自由端部に操作可能に取り付けられる導電ブラケットをさらに含む、請求項 1 に記載の E M I シールドアセンブリ。

【請求項 11】

E M I シールドアセンブリの構築方法であって、

壁を含む本体を形成するために 1 またはそれ以上の非金属系を互いに編みつつ、対向する端部の間で縦方向に互いに概ね平行に延びる対向する側面を有する前記壁内に少なくとも 1 つのワイヤを備え付けるステップと、

前記ワイヤの周りに前記非金属系のニットループを形成して前記ループで所定の位置にワイヤを捕捉し、前記ワイヤは前記非金属系に対しておよび他のワイヤに対して固定されるステップとを備える、方法。

【請求項 12】

壁を含む本体を形成するために 1 またはそれ以上の非金属系を互いに編みつつ、対向する端部の間で縦方向に互いに概ね平行に延びる対向する側面を有する前記壁内に少なくとも 1 つのワイヤを備え付ける前記ステップは、1 またはそれ以上の非金属系を経編みしつつ、前記少なくとも 1 つのワイヤを前記壁内に緯糸方向に沿って備え付けると、さらに規定される、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記壁の前記対向する側面を超えて延びる前記ワイヤの複数の露出した自由端部を提供することをさらに含む、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

前記自由端部を少なくとも 1 つの導電ブラケットに接続することをさらに含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記ワイヤの複数の露出した自由端部を提供することを、前記ワイヤの自由端部を露出させるために前記対向する側面において前記非金属系の前記壁を切断することをさらに規定する、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 16】

前記ワイヤは複数のワイヤであり、前記方法は少なくとも 1 つの前記ワイヤの個別の束を形成することをさらに含む、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 17】

前記少なくとも 1 つのワイヤは燃られる、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 18】

前記壁の前記本体の前記対向する側面を完成するために前記非金属系で端縫いを形成することをさらに含む、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 19】

前記ワイヤの一部を結び、前記壁の前記非金属系の前記ループの間で前記結び目部分を捕捉することをさらに含む、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 20】

前記壁内に少なくとも 1 つのワイヤを備え付ける前記ステップは隣接するワイヤの間に延びるギャップを作り出し、前記ギャップを前記ワイヤ間の所定の位置に維持するとさらに規定される、請求項 11 に記載の方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２３】

図４の参照にもどって、例示的な実施形態のＥＭＩシールドアセンブリを構築する方法はワイヤ２８の一部を曲げ、壁２４の非金属系２６のループ３４の間に曲がった部分を捕捉することを含む。既に説明されたように、例示的な実施形態のワイヤ２８は複数のワイヤ２８の個別の束４４をもたらすために互いに並んだ関係で配置される。それゆえ、方法はまたワイヤ２８の少なくとも１つの個別の束４４を形成するステップを含むかもしれない。さらに、方法は撚られ、または編まれたワイヤ２８を用いるかもしれない。少なくとも１つの実施形態の方法はさらに壁２４の本体２２の対向する側面３０を完成させるために非金属系２６で端目３６を形成するステップを含むかもしれない。